



ひ た よ ら ん

第2回定例会	2
6月6日から8日までの3日間		
第3回臨時会	3
委員会活動報告	5
一般質問 ここが聞きたい (9人)	6
ぎかいCafe	10
議会を傍聴して	11
町のこの人あの人	12

楽しみながらSDGsを推奨

河原地区

みずしま
水嶋

のぶゆき
伸幸

さん



中学生地域ふれあい活動 (根岸下)

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

経済支援や安全対策に係る補正予算を議決

第2回定例会

令和5年第2回定例会は6月6日から8日までの3日間を会期として開催され、条例、補正予算、契約等の審議を行いました。また、議会選出の清水豊司監査委員から定例監査報告がなされ、9人の議員が行政全般に及ぶ一般質問を行い、町の考えを質しました。

今回の定例会開催にあたっては、5月8日以降、新型コロナウイルス感染症が、5類感染症に移行されたことに伴い、出席者及び傍聴者それぞれが引き続き体調管理に留意したうえで、感染症の拡大防止に努めることを基本として、議場におけるマスクの着用は個人の判断に委ねることとしました。また、一定間隔での着座とした傍聴席も、通常どおりに戻しました。

条例

大井町税条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

* 地方税法施行規則の改正に伴い、特定小型原動機付自転車に関する所要の改正を行うもの。

問 特定小型原動機付自転車として区分された電動キックボードは、本町で何台の登録があるのか。
答 現時点で1台の登録があり、2000円の課税となる。

補正予算

一般会計(第2号)
(賛成全員)

* 歳入については、消防団退職奨励金、太陽

光発電設備売電収入及びコミュニティ助成事業助成金などを増額計上し、歳出は、それらの収入を財源とする事業及び新型コロナウイルス感染症緊急対策事業などを計上するもの。

問 自転車用ヘルメット購入費用補助金の予算根拠は。
答 児童生徒数×2000円で計上した。

問 この予算は来年度以降も継続するのか。
答 現時点では今年度限りを用意している。

問 国の交付金を活用し、広く町民に行き渡るような施策として水道料金の減免の検討はしたか。
答 今回の交付金の目的となっていないが、こともあり、商工業者の支援にもなるので、プレミアム付き商品券事業とした。

問 プレミアム率の増



置き去り防止機器が設置される幼稚園バス

額は検討したか。
答 商工振興会と相談した結果20%とし発行枚数を増やした。

問 道水路用地買収費は令和4年度の予算に入っているが補正した理由は。
答 地権者との交渉が長引き、令和4年度の契約締結に至らなかったため。

問 工事は予定どおり終わるのか。
答 予定どおりである。

問 幼稚園バス置き去り防止機器の補助額は。
答 1台当たり17万5000円の国庫補助がある。

問 どのような安全装置を予定しているか。
答 エンジン停止後、座席の一番後ろのボタンを押さないと数分後ブザーが鳴る。幼稚園バス全3台に設置する。



安全管理上の措置が講じられる大井中央公園内施設

問 農業安定化支援金は何件分を想定しているのか。

答 50件を想定している。

問 昨年の実績は。

答 43件であった。

問 財政調整基金の残高は。

答 補正後は10億3400万円余である。

に至る経過は。

答 太陽光発電設備の設置に伴うもので、いたずらによる事故が懸念され、改めて安全管理上の措置が必要となった。

人事

問 中央公園の充放電設備安全カバーの設置について同意を求めること（賛成11・反対1）

答 任期満了となるため、再度選任したいので議会の同意を求めるもの。

井上 伸治 氏
（再任 西大井）

人権擁護委員の推薦について議会の意見を求めること（賛成全員）

*人権擁護委員が令和5年9月30日をもって任期満了となるため、後任候補者を推薦したので議会の同意を求めるもの。

安池 千鶴子 氏
（再任 西大井）

久保寺 一男 氏
（再任 根岸上）

山本 香代子 氏
（新任 金手）

大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること
（賛成全員）

*令和5年6月30日をもって辞職される委員の後任について議会の同意を求めるもの。

太田 吉昭 氏
（新任 金手）

工事請負契約の締結

工事請負契約の締結について（道路改良工事・町道501号線）
（賛成全員）

*指名競争入札の結果、株式会社ビーケン大井町支店が落札したため、契約締結の承認を求めるもの。

問 入札における会社の支店の定義は。

答 登録には2種類あり、本社が登録している会社と支店を大井町に置き受任地登録をしている会社がある。

工事請負契約の締結について（総合体育館非常用電源改修工事）
（賛成全員）

*指名競争入札の結果、株式会社野地電機が落札したため、契約締結の承認を求めるもの。

選挙

小田原市外二ヶ市町組合議会議員の選出について
（賛成全員）

*任期満了に伴う後任者の選出。

橋本 一男 氏
（再任 西大井）

専決処分承認

大井町国民健康保険条例の一部を改正する条例
（賛成全員）

*地方税法施行令等の一部を改正する政令の公布に伴い、国民健康保険税の課税限度額等の引き上げを行う条例改正を専決処分したので、これを報告し承認を求めるもの。

問 改正後における課税限度額の超過世帯数と負担軽減世帯数は。

答 昨年度末ベースで試算すると限度額の超過世帯数は7世帯減の24世帯となる。また、軽減世帯数は、5割軽減で7世帯増の275世帯、2割軽減で8世帯増の249世帯を見込んでいる。

第3回臨時会

4月20日に開催され、専決処分の承認、補正予算の議案を審議しました。



一般会計(第1号)

(賛成全員)

*歳入及び歳出について、新型コロナウイルススワクチン接種に係る事業費や低所得世帯への支援給付金事業などを計上するもの。



雨漏り修繕が急務となった総合体育館

問 医療的ケア児等校外学習支援費補助金の対象と積算根拠は。
答 医療的ケアが必要となる生徒が校外学習へ行く際の付添人の交通費等であり、学校に対する補助となる。

問 総合体育館の雨漏り修繕は、これまでも何度か実施しているが、これで完了するののか。
答 現時点で説明できているところは修繕をしているが、築30年程経過しており、今後の対応もありうる。

問 新型コロナウイルススワクチンの接種予約の方法が返信用はがきとなるが、予約の変更は、どのように対応するのか。
答 役場の職員が電話等で対応する。

問 電気・ガス・食料品等価格高騰支援給付金の対象、給付額、実施時期は。
答 対象は、住民税非課税世帯であり、1世帯あたり3万円となる。給付の時期は7月下旬を予定している。



審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
 田村俊二議長は、採決に加わりません。

臨時会・ 定例会の別	議案 番号	議 案 名	議員名 (議席順) と審議結果											審 議 結 果	
			大石 舞	黒岩 陣太郎	重田 有紀	和田 紀昭	山崎 真弘	岡田 幸二	鈴木 磯美	田中 正彦	牧野 一仁	清水 亜樹	伊藤 奈穂子		清水 豊司
第3回 臨時会	23	専決処分の承認について (大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	24	令和5年度大井町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2回 定例会	25	大井町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	26	令和5年度大井町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	27	令和5年度大井町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	28	大井町副町長の選任について同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	同意
	29	人権擁護委員の推薦について議会の意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	30	工事請負契約の締結について (道路改良工事・町道501号線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	31	工事請負契約の締結について (総合体育館非常用電源改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
32	大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	

委員会活動報告

委員会活動報告

現在の各委員会の活動状況について、次のとおり報告します。

企画経済常任委員会

企画経済常任委員会では、気候変動の危機的状況を町民、事業者、行政などあらゆる主体が広く情報を共有し、協働して気候変動対策に取り組む必要があることから、昨年は、テーマを「町民とともに取り組む低炭素・循環型社会の実現について」としました。先進自治体の視察後、改めて循環型社会の重要性を痛感したことから、このテーマを引き継ぐこととし、調査項目を「3Rの推進に向けた取組み」に絞り、6月14日には、担当課である生活環境課に説明を求め、調査・研究に取り組んでいます。

教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会では、昨年に引き続き「高齢者の健康増進・健康長寿の実現について」を活動テーマとして調査・研究を行っています。5月12日には、担当課である福祉課に説明を求め、介護予防事業への男性の参加率が低いことや、介護予防事業の担い手確保と育成、今後の地域支援事業のあり方など、町の現状と課題の把握を行いました。今後は、先進事例を視察するなどにより、改善策を研



委員会の活動風景

究していきたいと考えています。

広報広聴常任委員会

広報分科会

議会だより及びホームページは、分かりやすく、身近に感じてもらえるよう心掛け、更に工夫していきます。また、デジタルを活用した情報発信について調査・研究を進めていきます。

広聴分科会

新しい議会広聴のあり方について検討を進め、その具体的な取組みとして、6月20日（火）から22日（木）までの間に「ぎかいCafe」を開催しました（その結果は、10ページ参照）。また、昨年、感染症の影響により中止とした「議場体験ツアー」の実施に向け取り組んでいます。今後とも皆様との意見

交換の場の充実を図っていきます。

議会運営委員会

議会運営委員会

議会運営委員会では、会期日程等の審査をはじめ、議会の円滑かつ効率的な運営に向けて取り組んでいます。昨年11月に大井町議会の個人情報保護に関する条例が制定されたことを受け、本年3月には同条例施行規程を制定しました。また、6月には、町民からの一層の信頼確保に向け大井町議会議員政治倫理規程を制定しました。さらに、議長からの諮問である議員定数及び議員報酬のあり方について、昨年12月から検討を進めています。今後は、諮問として残された議会基本条例の見直しについて検討を進めるとともに、議会運営全般について、改善に努めていきます。

議員報酬のあり方について、昨年12月から検討を進めています。今後は、諮問として残された議会基本条例の見直しについて検討を進めるとともに、議会運営全般について、改善に努めていきます。



委員長・副委員長・事務局長
研修会に参加

議会運営委員会及び常任委員会の正副委員長は、5月19日（金）、県民ホールにて開催された神奈川県村議会議長会主催の研修会に参加しました。その内容は、大正大学社会科学部公共政策学科特任教授片山善博氏による「ポストコロナ時代の地域、経済、自治を考える」をテーマとした講義でした。

大井町議会議員
政治倫理規程を
制定

町民の信頼に応えるとともに、公正で民主的な町政の発展に寄与することを目的として政治倫理規程を制定しました。なお、新たに制定した規程には、令和5年3月からの地方自治法の改正内容を受け、議員個人による請負状況の透明性を確保するための内容も盛り込んでいます。



大井町議会のホームページでは、一般質の委員会や委員会の活動等がご覧いただけます。

大井町議会

検索

ごみ資源化率の目標値が

低すぎるが

答 現実に即した中で

施策を考えていく



和田 紀昭 議員

問 現在の燃やすごみ
の中での組成割合は。

町長 分別できるもの
として、古紙・布類が
8.3%、プラスチック類
が4.5%含まれている。
半分以上残存している
食品ロスは3.9%である。

問 環境基本計画での
資源化率が現在、神奈
川県内で23位に推移し
ている中で、今後の目
標値が低いと考えるが
町長の考えは。

町長 しっかりと現実
に即した中で目標達成
するために施策を考え
ていく。



令和5年に策定された
環境基本計画

課長 10団体で1万
3800キロある。

問 古紙回収への新た
な取組みを考えている
か。

課長 地域のリサイク
ル活動の奨励金制度の
拡充なども検討してい
く考えはある。

問 町民の方の意識を
高めるために、広報や
ホームページだけでは
足りないと思う。今後、
新たな施策は。

課長 SNSの運用や
媒体の選定など検討し
ていきたい。

問 生ごみへの今後の
取組みは。

課長 段ボールコンポ
ストの無料配布を従来
行っているが更なる啓
発を行っていきたい。

町のさらなる活性化に向けた

人事管理を問う

答 自らの強みを活かし、

創造的な挑戦をする組織人をつくる



岡田 幸二 議員

問 行政の目指す役割
の原点である「町民の
声を反映する」ことに
対し、委員会の「政策
提言」等では、明確な
回答が示されていない
が。

町長 今後は、的確に
答えにくいものでも、
その経過等を含めて報
告していくことで、町
民や議会とキャッチポ
ールしていきたい。

問 「人材育成の考え
方」は職員に周知して
いるのか。

課長 人材育成基本方
針は前面に押し出して



広報おおい6月号表紙
町の未来を変えないか？

えているのか。

課長 若手職員を中心
にDX推進委員をおき、
オンライン研修を受講
キャッシュレス納付の
導入などに取り組んで
いる。

問 若手職員の離職が
散見される。また、定
年延長も制度化され、
町のさらなる活性化に
向けた人事管理が必要
であるが、どう考える
か。

町長 職員の資質をよ
り一層向上させ、有し
ている能力を最大限引
き出していくことが必
要であり、人事業務で
ある採用・育成・評価
などが円滑かつ総合的
に機能していくことが
重要と考えている。

自治会の現状と協働のあり方は

答 様々な課題の解決に取り組む



黒岩陣太郎 議員

問 協働のパートナーとして、自治会に期待することは。

町長 将来にわたり持続可能で活力のある地域社会を築くため、地域の課題やニーズを的確に捉え、町民の活動を促進し町民同士による協働のまちづくりを期待している。

町長 自治会加入の現状と課題は。町長 直近3年間で加入率は年々低下しているのが現状である。世帯分離をする傾向も加入率に影響している。



自治会防災倉庫
資機材点検の様子

問 町として加入者にインセンティブを与える制度を検討する考えは。

町長 他市町村の自治会加入促進に向けた取り組みは、今後も調査研究していく。

究し、随時進めていきたいと考えている。

問 自治会役員の高齢化や担い手不足に対する町の支援策は。

町長 加入率の減少と同様に、課題として認識している。しかし、各自治会は自主的・自立的に運営される組織であることから、町が直接運営に関われないとして、一律のルールを設けることも難しいものと考えている。町としては、他自治会の事例紹介を進める中で、引き続き維持・活性化のバックアップを行っていく。

自転車用ヘルメットの公費助成は

答 今年度限り

小中学生対象に助成する



伊藤奈穂子 議員

問 自転車の乗車用ヘルメット購入費を一部助成する考えは。

町長 小中学生に対して一人当たり2000円を上限に補助する予定で、本定例会に補正予算を計上している。



自転車に乗る時はヘルメットをかぶりましょう！

課長 令和6年10月に運用開始できるように、体制を整えている。

問 帯状疱疹ワクチンの接種費用を公費助成する考えは。

町長 今後必要に応じて費用助成の検討を行うとともに、国や県に対し近隣市町と連携し要望を行っていく。

問 道路交通法は自転車に乗る全ての人に対して努力義務となった。対象者を拡充する考えは。

課長 現時点ではニーズがない。今後様子を見ていく。

問 健診事後フォロー教室、児童発達支援教室の回数を拡充する考えは。

課長 そのような声があるのは承知しているが、現在、ある程度補完しながら利用環境について整えている。

問 特別支援学校に通う児童生徒の把握方法について。

町長 学齢期において人数を把握している。

問 読書活動の推進について。

町長 学校図書館の蔵書をデータベース化し連携するため、町図書館のシステム更新時にその検討をするとのことだが、更新時期は。

待機児童対策は

答 状況把握と

保育定員の弾力化を図る



大石 舞 議員

問 待機児童は低年齢児が多い。低年齢児の受け入れ人数を増やす考えは。
課長 今年度は1歳児の人数が突出した。2歳児は受入人数が多く、ある程度解消できると見込んでいる。



今年も待機児童1名町の対応は急務

問 幼稚園と保育園の安心な管理・運営
課長 保育園の避難確保計画では園児80人を12〜15人の保育士で避難させるとある。実効性は。
課長 避難訓練等で検証し、課題点等洗い出し、対応できるように努めている。

問 今の場所にある限り、安全確保は限界では。リスクの低い場所の確保が急務では。
町長 所在地については課題があると認識している。10年以内に改修が必要となることから、移転も含めた検討を進めたい。

問 待機児童対策は町の責任で行うべきでは。
町長 町内希望者が入れる仕組みにし、働く人の手配も含め、しっかり対応すべきである。

問 園長の兼務を止め、1人ずつ配置しては。
教育長 教頭は正規で日常的にいる。十分対応できる。

問 長く働いてもらい、スキルアップを支援するためにも、園長を現場の方にしては。
教育長 園全体の運営や学校教育へつなげる視点で行っている。

問 学校の医療的ケア児在籍状況は。
教育長 複数が在籍している。

問 包括的性教育を「大井の教育」に位置付けては。
教育長 総合的な教育であるため、現時点では考えていない。

町立学校の医療的ケア児への看護師配置は

効果的な運用を図っていききたい



重田 有紀 議員

問 学校の医療的ケア児在籍状況は。
教育長 複数が在籍している。
問 看護師配置の現状は。
教育長 配置はない。
問 医療行為は誰が行うのか。
課長 本人、家族、保護者である。

問 【金子開成和田河原線工事について】
課長 令和10年4月を予定。
問 令和6年度から御殿場線高架下が通行止めになると聞いたが。
課長 県とJRとの協定締結後に判明する。

問 保護者からの相談や要望はあったか。
課長 以前より福祉課へ、相談があり協議を重ねてきた。
問 現在まで、看護師が配置されていない理由は。
教育長 情報共有はしているが、対応には至っていない。

問 国から3分の1補助があるが、県から支援はない、強く要望すべきでは。
教育長 町や教育委員会からも要望はしている。

問 看護師配置について学校からの要望は。
教育長 なかった。

問 指摘のとおり学校等へ説明を行う。
課長 交通安全啓発として、授業等で現場見学等行う予定は。
課長 状況により対応していききたい。



多様性、医療的ケア児も学びたい。

中学校部活動における

地域移行の課題は

答 整理・解決しなければならない課題が多くある

【地域防災計画について】

討、保護者の費用負担や送迎など整理・解決しなければならない課題が多くある。



清水 亜樹 議員

問 現在の中学校の部活動の状況は。

町長 今年度は、文化部2部、運動部が7種目、男女別で11部、特設部として3部が活動している。なお野球部は近隣学校との合同で活動している。加入率は男子67・4%女子56・2%となっており、活動日は大会前を除き平日3〜4日で、土日はどちらか1日としている。

問 部活動の地域移行の現状と課題は。

町長 今年度、地域関係団体や学校、保護者などの委員で構成する「部活動地域移行推進協議会」を設置する。また現在、地域指導者として5名の外部の方にお願ひしている。課題としては、受け皿となる団体や指導者人材の確保、活動場所の検



中学校部活動
(女子バスケットボール部)

【避難行動要支援者の個別避難計画策定にあたっては、課題はあるが町長の主導で担当部署を集め進めていくべきでは。

問 避難行動要支援者の個別避難計画策定にあたっては、課題はあるが町長の主導で担当部署を集め進めていくべきでは。

町長 実現性を考慮して、しっかりと取り組んで行きたい。

問 総合体育館柔剣道場を福祉避難所に事前指定すべきと考えるが、

課長 必要であれば、事前指定は可能と認識している。

地域活性化に有効な

特産品開発の取組みは

答 今後も6次産業化や農商工業の連携を進める

【産官学民協働事業として昭和女子大学と提携しているが、特産品開発事業に組み込めないか。】



田中 正彦 議員

問 第6次総合計画や施政方針で挙げている農業の6次産業化推進の進捗状況と今後の課題は。

町長 農業が抱える課題解決策として、6次産業化や農商工業の連携を位置付け、未だ小さい取組みだが地域営農団体によって6次産業化は進行中である。また、農業と商工業の連携は、生産者と小売店を繋ぐ仕組みを構築した結果、フェイジョア等地場産農産物を利

用した大井スイーツレクシオンや弁当開発が出来た。今後も地域全体の取組みとして拡大していく。



フリーペーパーで特産品をPR

問 特産品開発事業推進に向けた助成金支給の考えは。

町長 近隣他町の様な特産品認定制度や補助金支給は考えていないが農産物加工に必要な機械購入の助成・商品開発費の助成は行っている。

問 産官学民協働事業として昭和女子大学と提携しているが、特産品開発事業に組み込めないか。

町長 当該女子大とは連携協力に関する包括協定を締結中である。したがって、学生が望むテーマであれば積極的に協力していく。

問 農水省が推奨するローカルフードプロジェクトがあるが活用意向は。

町長 6次産業化、農商工業の連携、特産品開発に有意性がある。ニーズに応じて、環境を整備する。

自治会担当職員制度の現状を問う

答 コロナ禍により、

十分な活動はできなかつた



牧野 一仁 議員

現状を問う

PDCAサイクルを意識した取り組みとして機能していると考えます。

問 外部委員を公募する考えはあるか。

町長 外部委員の選定については、行政事業の評価をすることの難しさがあり、公募ではなく行政事務に精通した方と町民の代表者で実施している。

問 近隣の町では5名中2名は公募である。大井町ではできないのか。

課長 それぞれの考え方が異なる。評価の対象が近隣の町と大井町では違う。

問 新型コロナウイルス感染症の影響により自治会活動が停滞している中で、どのような活動をしたか。

町長 自治会では総会等が中止となり、活動の停滞を余儀なくされた。

問 自治会加入率の向上に対してどのような活動をしたか。

町長 担当者が取り組む問題ではなく、課として取り組むものと認識している。ホームページ、チラシ、ハンド

ブック等で啓発活動を行っている。

問 行政評価について

評価結果を行政運営に反映させる必要があるが、PDCAサイクルは回せているのか。

町長 年間で取り組む事業への実施方法の再検討や次年度予算要求への反映や長期的に捉えた行政評価において総合計画の進捗状況の確認を行っている。長期的にも短期的にも行政評価の実施において



自治会活動風景

ぎかいCafeを
開催しました

みで、開催いたしました。

6月20日から22日の3日間の日程で、生涯学習センターの1階ホワイエで開催し、期間中32名の方が参加されました。わざわざお越しくださった方や生涯学習センターでのサークル活動に参加する際に、立ち寄りってくださいました。

広報広聴常任委員会広聴分科会では、開かれた議会、町民の皆さまとともに歩む議会を目指して、これまで議会報告・意見交換会を開催してきましたが、開催当初から13年が経過し恒常化してきたことや、人前で意見を言えない方もいることなどを踏まえ、より議会を身近に感じてもらい、気軽に話せる機会、意見交換をする場を増やすことを目的に「ぎかいCafe」を初の試



意見交換では、投票率が低いことや議会傍聴者が少ないこと、一般質問の資質についてなど議会に対するご意見をはじめ、昨年オープンした「おい中央公園」について、また、昨年から本格運行された「おいゆめバス」について、近年災害が各地で多く発生していることから「災害対策」について、その他学校や幼稚園のことも多岐にわたり多くの貴重なご意見を頂きました。参加された皆さまのご意見は議会活動や各議員の活動の参考にするともに、ご意見をまとめ公表させていただきます。

今回の「ぎかいCafe」の実施を踏まえて、開催場所や開催時期などを検討し、更なる広聴活動に努めてまいります。

議会を傍聴して



税務課

池田 知司

今回の議会傍聴の中で、興味深かったのは、

中学校の部活動についてです。部活動の地域移行は、顧問の先生方の負担が減ることや、

専門的な指導を受けることができる等の利点があると考えます。一方で、外部の方に生徒を任せ、怪我等が発生したら責任は誰が取るのかという問題も発生

します。地域移行し、専門の方が指導を行うことで、大会等で勝利することに重きを置き、練習がハードになりがちであると私自身の経験上感じます。質問議員がお話しされたように、部活動はスポーツ、芸術文化等の活動機会を得られるとともに、心技体の向上を楽しむ機会にしていくことが、中学生の時期では大切

なものではないかと議論

を傍聴し、思いました。そして、議会を傍聴した機会を活かし、さらに大井町を知り、学んでいこうと思います。

福祉課

萩原 浩美

職員研修の一環でこの度、第2回定例会の2日目、一般質問を行う議会を傍聴しました。ことは「大井町を良くしていきたい」という思いが詰まった場であるというものです。

町長と議員は、選挙により町民から選ばれます。町民の代弁者でもある議員により、直接行政に質問を投げかけ、大井町が目指すものがどこまで進んでいるのか、課題、反省、期待すること。行政が公正・公平に行われているのか確認する場がありました。私たちが

日々取り組んでいる仕事のひとつひとつが、大井町を創る一端なのだと感じました。

そして、施策を実行し、地域に還元する。そこで初めて大井町の良さや魅力が発信され、共感と同時に広がっていくのだと思いました。

子育て健康課

高橋 舞

この度、令和5年度大井町議会第2回定例会を傍聴させて頂きました。会議の内容として、一般質問が印象に残った場面でした。

行政として取り組まなければならない問題やニーズを数値化して捉え議論していくことで、町民がよりよく過

ごせるよう考えていくのだと思いました。また、会議において課を越えて情報交換や連携が必要であるという話がありました。私は子育て健康課に所属しており、教育総務課などの情報交換によりつながった支援がなされていると感じていました。改めて課を越えてのつながりが大切であると思いました。

町長より、現在は考

えの多様化により、様々な視点で考える必要があるという言葉があり、町民の声を聴く際には相手の立場や思いを考え、職務に励んでまいりたいと思います。

生活環境課

小野 清楓

新採用職員が、議場で行われる議員と町長等との緊張感あるやり取りを見ることで、地方自治への理解を深めることに期待します。

いたいただきました。議事録を読むだけではわからない、場の緊張感や議会議員の熱量が伝わり、非常に貴重な経験となりました。

2日目の一般質問は、待機児童問題や医療的ケア児の支援など教育に関する内容から、道路工事の進捗、町の地域防災計画、特産品開発・育成への仕組みづくりなど多岐にわたる内容でした。一人あたり50〜60分の通告時間でしたが、途絶えることなく質問と答弁が続き、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

私はこの議会を通して、大井町の現状や今抱えている問題について無知であることを痛感しました。今後は、自分の担当業務だけではなく大井町について幅広い視野を持つて業務に取り組んでいきたいと思

います。

新採用職員が、議場で行われる議員と町長等との緊張感あるやり取りを見ることで、地方自治への理解を深めることに期待します。

新採用職員が、議場で行われる議員と町長等との緊張感あるやり取りを見ることで、地方自治への理解を深めることに期待します。

新採用職員が、議場で行われる議員と町長等との緊張感あるやり取りを見ることで、地方自治への理解を深めることに期待します。

新採用職員が、議場で行われる議員と町長等との緊張感あるやり取りを見ることで、地方自治への理解を深めることに期待します。

新採用職員が、議場で行われる議員と町長等との緊張感あるやり取りを見ることで、地方自治への理解を深めることに期待します。

新採用職員が、議場で行われる議員と町長等との緊張感あるやり取りを見ることで、地方自治への理解を深めることに期待します。

新採用職員が、議場で行われる議員と町長等との緊張感あるやり取りを見ることで、地方自治への理解を深めることに期待します。

町のこの人あの人

楽しみながらSDGsを推奨



河原地区
のぶゆき
みずしま 伸幸 さん
水嶋

SDGsに深い関心を持ち、ご自身で取り組んでいる水嶋さんをご紹介します。

●水嶋さんに大井町の魅力を尋ねると、東名高速道路のインターチェンジがあり、都心へのアクセスは抜群で大磯丘陵や酒匂川などの自然あふれるこの町がとても気に入っていると笑顔で答えてくれました。

●水嶋さんは長きにわたり教職に就き、今でも臨時採用職員として

指導に当たっているそうです。科目は保健体育科ということもあり、健康には人一倍留意し

日頃の食生活やカラダを動かすことの大切さを切実に語ってくださいました。休日は町内でロードワークと畑仕事を欠かさず行い、健康寿命の推進にも探求しておられます。

●教育現場では積極的にSDGsについて授業に取り入れ、生徒の指導にあたり、教場ではICTの活用も率先して行い、黒板にチ

ョークは使わずパソコンとスクリーンで生徒を飽きさせないよう、ご自身で作成した動画などを交えて授業に取り組んでいるそうです。水嶋さんは、「一人でも多くの生徒に学ぶことの楽しさや、そのことが世界平和、地球環境保全に繋がっていくことに気づいてくれることを期待している」と、おっしゃっていました。



水嶋さん立案の
コミュニティサロン、
コムカフェ

●そして、水嶋さんは生徒数減少を逆手に取り、空き教室を教員と生徒の垣根を越えたコミュニティサロン、コムカフェの創設を2年前に行い生徒や職員のメンタルケアなどを行っているそうです。

●最後になりますが、水嶋さんは、大井町で育ち、一時お仕事の都合で離れるも再び大井町に戻り、子育てを終え、今後は自分自身の健康と、この町の良いところを町内外の方々にお伝えできるよう、親から受け継いだ畑を耕し、持続可能な17の目標のために出来ることを無理なく楽しんで取り組んでいきたいと、満面の笑みを浮かべ語ってくれました。



町政を知る良い機会です。議会傍聴にお越しください。

第3回定例会開催 9月5日(火) 午前9時

問合せ先：議会事務局 ☎ 85-5000 FAX 83-3936

編集後記

令和5年第2回定例会では9名の議員より行政に対する一般質問が行われました。その内容は本誌に掲載しますが、近年では映像配信を行っている議会もあります。この度、町議会では広報・広聴の垣根を越えて、デジタル化に対応する任意の研究会を立ち上げました。今後とも、町民の皆様に関し易い調査・研究を行ってまいります。最後になりますが、残暑も厳しい折、皆様におかれましては、どうぞご自愛のうえお過ごしください。

黒岩 陣太郎

広報広聴常任委員会

(広報分科会)

- 委員長 清水 亜樹
- 副委員長 大石 舞
- 委員 伊藤奈穂子
- 委員 岡田 幸二
- 委員 山崎 真弘
- 委員 和田 紀昭
- 委員 黒岩陣太郎